

各 位

会社名 株式会社果実堂
代表者名 代表取締役社長 井出 剛
問合せ先 経営企画室長 小板橋 達也
(TEL : 096-289-8883)

大和証券グループとの業務提携に関するお知らせ

株式会社果実堂（本社：熊本県上益城郡、代表取締役社長：井出 剛、以下「当社」）及び当社子会社の**株式会社果実堂テクノロジー**（本社：熊本県上益城郡、代表取締役社長：高瀬 貴文、以下「果実堂テクノロジー」）は、大和フード&アグリ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：越智 研至、以下「大和フード&アグリ」）のベビーリーフ生産ビジネスに関する業務提携を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業務提携の内容

大和証券グループは、グループ戦略の一環として、2018年11月に大和フード&アグリを設立しました。同社は、先端技術を活用した農業生産に供する設備ヘリスクマネーを投下し、アグリテックの普及を後押しすることで、地方における農業生産の規模拡大、産業化を推進し、我が国の抱える社会問題の一つである耕作放棄地の解消と地方における農業産業の活性化に貢献することを目指しております。

一方、ベビーリーフ*¹の年間14回転（期作）栽培を可能とする「高瀬式14回転ハウス」*²を有する当社は、当社グループの技術の収益化を担う果実堂テクノロジーや東京大学発ベンチャーで農業用土壌水分センサー及び自動灌水システムを開発した**株式会社 SenSprout**（本社：東京都港区、代表取締役社長：三根 一仁）と連携して、日本の葉野菜栽培技術の高度化を進めてまいりました*³。こうした取組みについて大和フード&アグリより評価を受けて、業務提携に至りました。

本業務提携では、大和フード&アグリが当社の「高瀬式14回転ハウス」14棟（約7,000㎡）を取得します。今後、当社グループは大和フード&アグリからの栽培設備に対する投資を受けて、ベビーリーフの生産及び販売の更なる拡大を目指してまいります。



高瀬式14回転ハウス

当社グループは本業務提携の意義について、①大手証券会社グループとの協業による対外的な信用力の向上が期待されるほか、②従来の自己資金と銀行借入れによる設備投資に加えて、外部投資家による設備投資（資産の流動化）を通じ、成長機会を捉えた投資の加速化が期待されるものと位置付けております。



SenSproutの土壌水分センサー

- *1 **ベビーリーフ**は、水菜、ほうれん草、ルッコラ、ロメイン、オークなどの野菜の幼葉のミックスサラダ。**機能性**（高い栄養価）と**簡便性**（水で洗って盛り付けるだけの手間いらず）から、海外市場（米国 2,000 億円、EU 1,000 億円）同様に国内でも市場の成長が期待される。一方、高温多湿気候における軟弱な幼葉の密集栽培という技術的課題や、生育速度や栽培方法が異なる複数品種の並行的栽培（多品種少量生産）、品質・鮮度の点で在庫がきかない（ジャストインタイム）といったオペレーション上の課題から、長年ベビーリーフの国内での安定生産は困難とされてきた。果実堂では社内に研究所を設置して栽培技術の向上や IT 化を進め、ベビーリーフの通年安定供給を実現している。
- *2 **高瀬式 14 回転ハウス**は、果実堂グループがユーザー目線で独自に設計・開発した高機能ビニールハウス。①高単収・高回転栽培による**収量増加効果**、②灌水・換気作業の自動化による**省人化効果**、③耐風圧設計による台風災害に対する**減災効果**を兼ね備える。現在、土耕栽培では異例の年間最大 14 回転（期作）栽培に成功し、当社のベビーリーフ事業の拡大に大きく貢献。
- *3 経済産業省「農商工等連携事業」の産業コンソーシアムにより、果実堂、果実堂テクノロジー及び SenSprout の 3 者が連携（事業テーマ「IoT の活用による自動環境制御・耐風雪圧設計の農業用高機能ハウスの開発・販売事業」）して複合環境制御型の農業用ハウスの開発が進行中。

2. 本プロジェクトの参加者の概要

①大和フード&アグリ株式会社

(1) 名 称	大和フード&アグリ株式会社
(2) 本店所在地	東京都千代田区丸の内 1-9-1 グラントウキョウノースタワー
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 越智 研至
(4) 設立年月日	2018 年 11 月 1 日
(5) 大株主及び持株比率	株式会社大和証券グループ本社 100%

②株式会社 SenSprout の概要

(1) 名 称	株式会社 SenSprout
(2) 本店所在地	東京都港区芝 2-16-7 KTT ビル 2F
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 三根 一仁
(4) 事業内容	高機能ビニールハウスソリューション、水分センサーの開発及び販売
(5) 設立年月日	2015 年 1 月 9 日

③株式会社果実堂テクノロジーの概要

(1) 名 称	株式会社果実堂テクノロジー
(2) 本店所在地	熊本県上益城郡益城町田原 1155-5 熊本テクノロジーサーチパーク
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 井出 剛 代表取締役社長 高瀬 貴文
(4) 事業内容	・農業コンサルティング事業 ・農業ビジネス参入企業への支援 ・ビニールハウス建設事業、資材機器販売
(5) 設立年月日	2016 年 11 月 1 日

3. 今後の見通し

高瀬式 14 回転ハウスの販売により、収益計上と資産の流動化（オフバランス化）を見込んでおります。今後も大和フード&アグリに対して追加のハウス販売を見込んでおり、収益に貢献する見込みです。

以 上

(ご参考) 株式会社果実堂について

2005年設立の農業ベンチャー企業である(株)果実堂は、「健康のある場所。果実堂」を経営理念として、予防医学の観点から2008年に熊本県内でベビーリーフ(野菜の幼葉のミックスサラダ)の大規模自社栽培に着手しました。2019年1月現在、ハウス内土耕栽培で年間最大14回転(14期作)の栽培に成功し、栽培面積69ha、ハウス棟数730棟、年間生産量600トンの国内最大のベビーリーフ生産会社となっております。当社は自社内に研究所を有し、全ての栽培データをITを駆使して網羅的に管理するとともに、土壌、水分、温度、微生物等の至適条件に基づくサイエンス農業を実践しております。

社名	株式会社果実堂	
本社所在地	熊本県上益城郡益城町田原 1155-5 熊本テクノリサーチパーク内	
代表者	代表取締役社長 井出 剛	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模ベビーリーフの生産, 販売 ・機能性発芽食品の開発, 製造, 販売 	
資本金	1億円	
設立年月日	2005年4月6日	
大株主及び 持株比率	(株)井出事務所(創業者資産管理会社)	8,413株(43.5%)
	三井物産(株)	4,056株(20.9%)
	カゴメ(株)	2,000株(10.3%)
	トヨタ自動車(株)	700株(3.6%)
	(株)鹿児島銀行	527株(2.7%)
	(株)北九州銀行	500株(2.6%)
	(株)大分銀行	400株(2.1%)
	エア・ウォーター(株)	367株(1.9%)
	矢崎総業(株)	360株(1.9%)
	(株)富士通九州システムズ	300株(1.6%)
	(株)ミクニ	300株(1.6%)
	辻製油(株)	300株(1.6%)
役員	代表取締役社長 井出 剛 (創業者) 取締役 河野 淳子 (新規事業本部長) 取締役 高瀬 貴文 (栽培管理本部長・技師長) 社外取締役 藤井 啓吾 (カゴメ(株) 執行役員 農生産部長) 社外取締役 愛川 美文 (株)富士通九州システムズ 取締役 執行役員常務 社外取締役 後藤 光博 (三井物産(株) 流通事業本部 リテール支援室長)	
従業員数	160名(グループ合計・パート社員含む)	